元禄十八年二月廿日

第二

# 賤山何事談

[illegible] 法順

[illegible] 夢人

[illegible] 帰

[illegible] 岐全

[illegible] 法憲

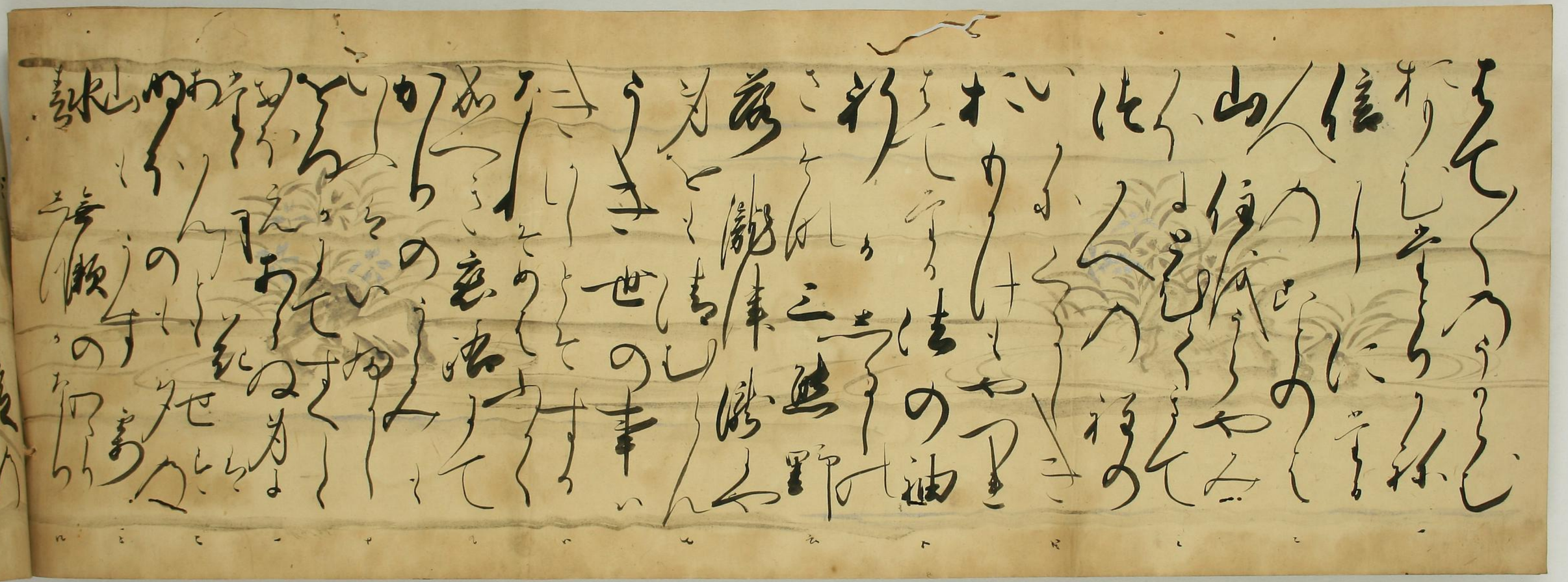
一 [illegible] 法通

[illegible] 法東

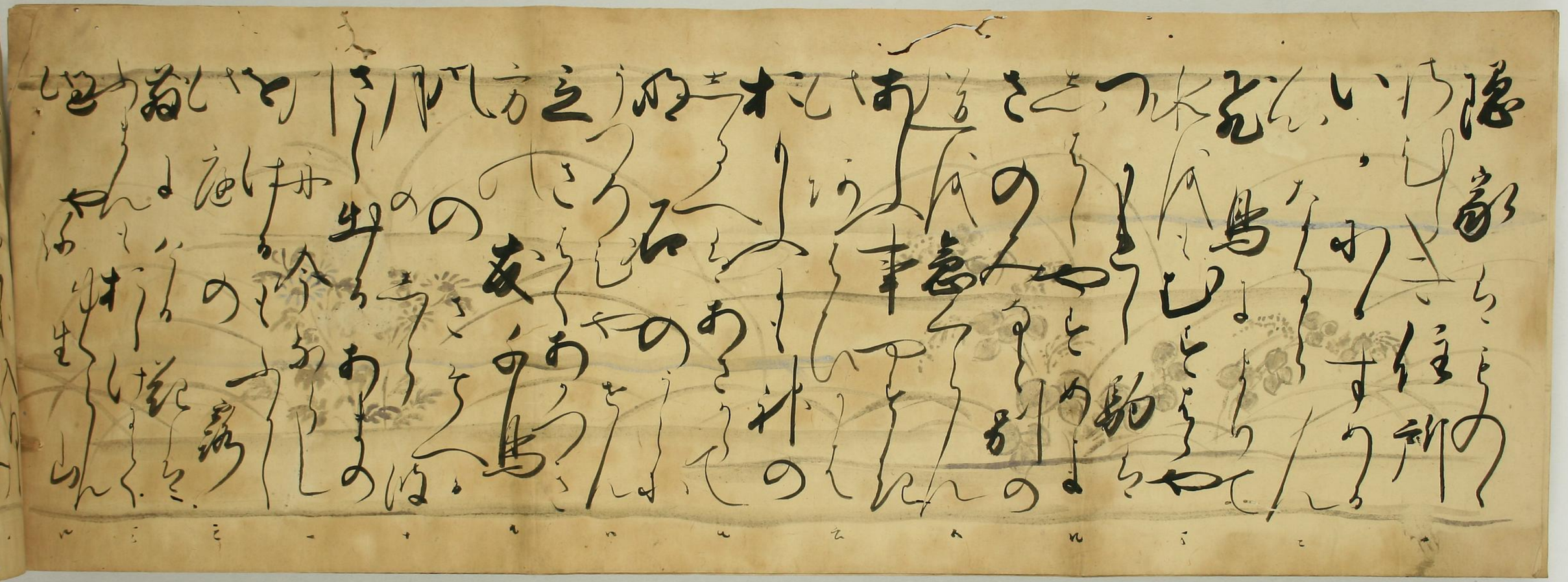
[illegible] 法恩

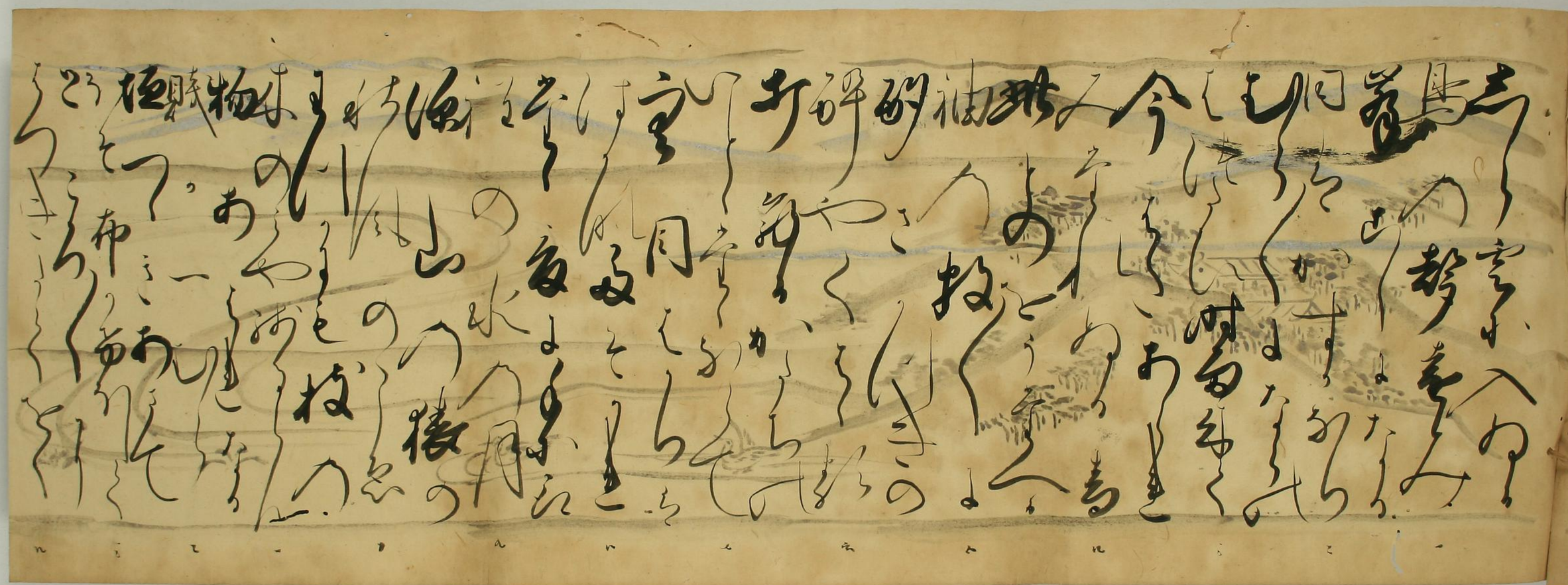
[illegible] 法京

今きゝ庭の
りみらの萩え
千山のおり
春そて雪ちら
雲つゝ伊吹は
すゝしやるかり
うらはらしもしす
はのくまもー
村あはせて
ふるへ信濃しかく
折やつゆにしろや
めくいかくしく
秋すさむなくらくと
宅あらか
旅ねよ麻衣
しれくの月
紀のおくへせよ
林へいくとも
とゝめくもとゞ
かくみつゆ
いとしくらく信
辞すゝくもとの山
今しへおつる
捨なんとゆくて
おさみちかうて
おもてかへ



風と
の高遠
さと
なく
はな
ちら
ぬと
志
なし
緣
すい
ぬし
袖
浪の
花
ぬし
あ
清
書
つ
古
風
の
月
の
山
の
寄
河
の
麻
の





第三

# 御初穂連歌

北野宮能士

伊地知文庫
文庫20
49
3

元禄十五年二月

# 北野天満宮法楽千句連

大納殿